

JAPAN | JUNE 21, 2024

aws SUMMIT



MINISESSION

AWS 活用の改善フレームワーク AWS Well-Architected Framework の ご紹介

AWS Solutions Architect



© 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Agenda

AWS 活用の改善計画を策定する際の課題とあるべき姿
AWS Well-Architected Framework の概要と活用方法
まとめ

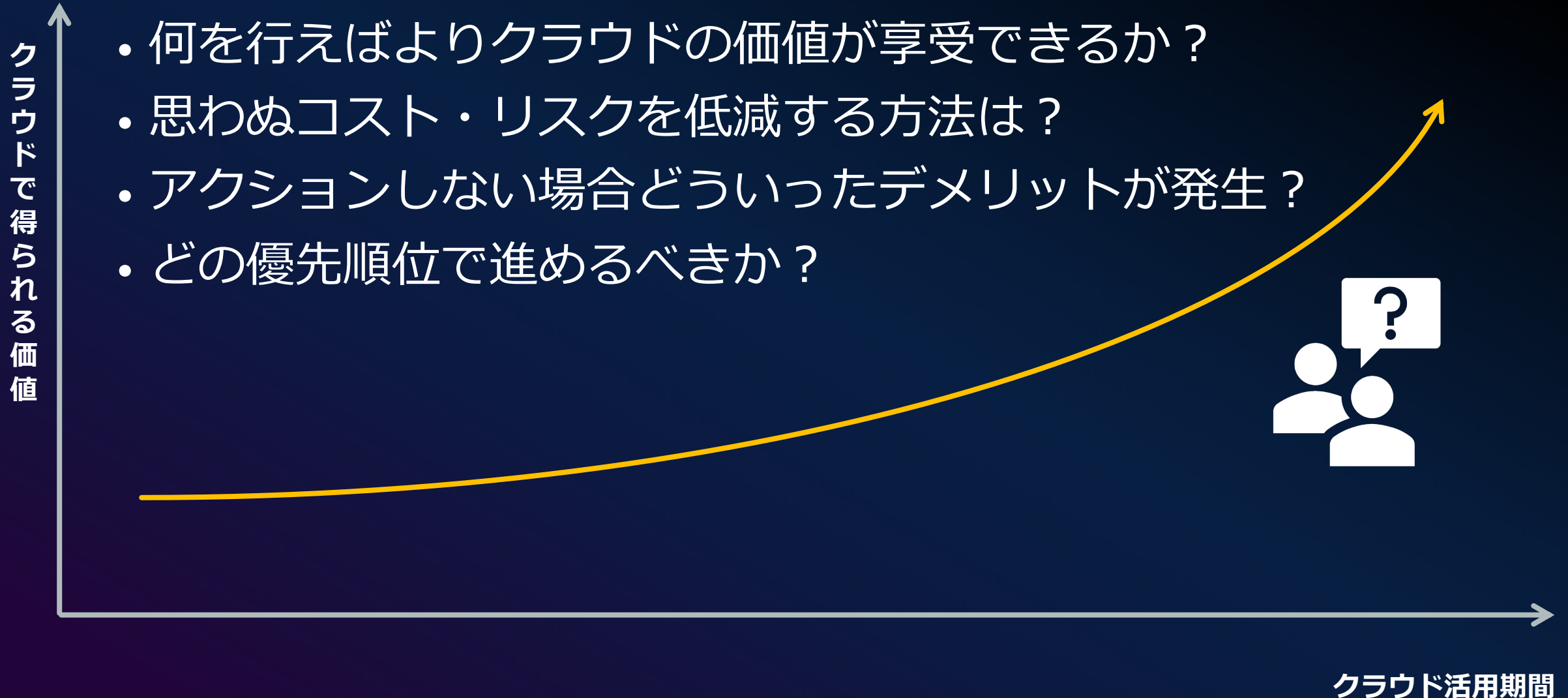
Agenda

AWS 活用の改善計画を策定する際の課題とあるべき姿

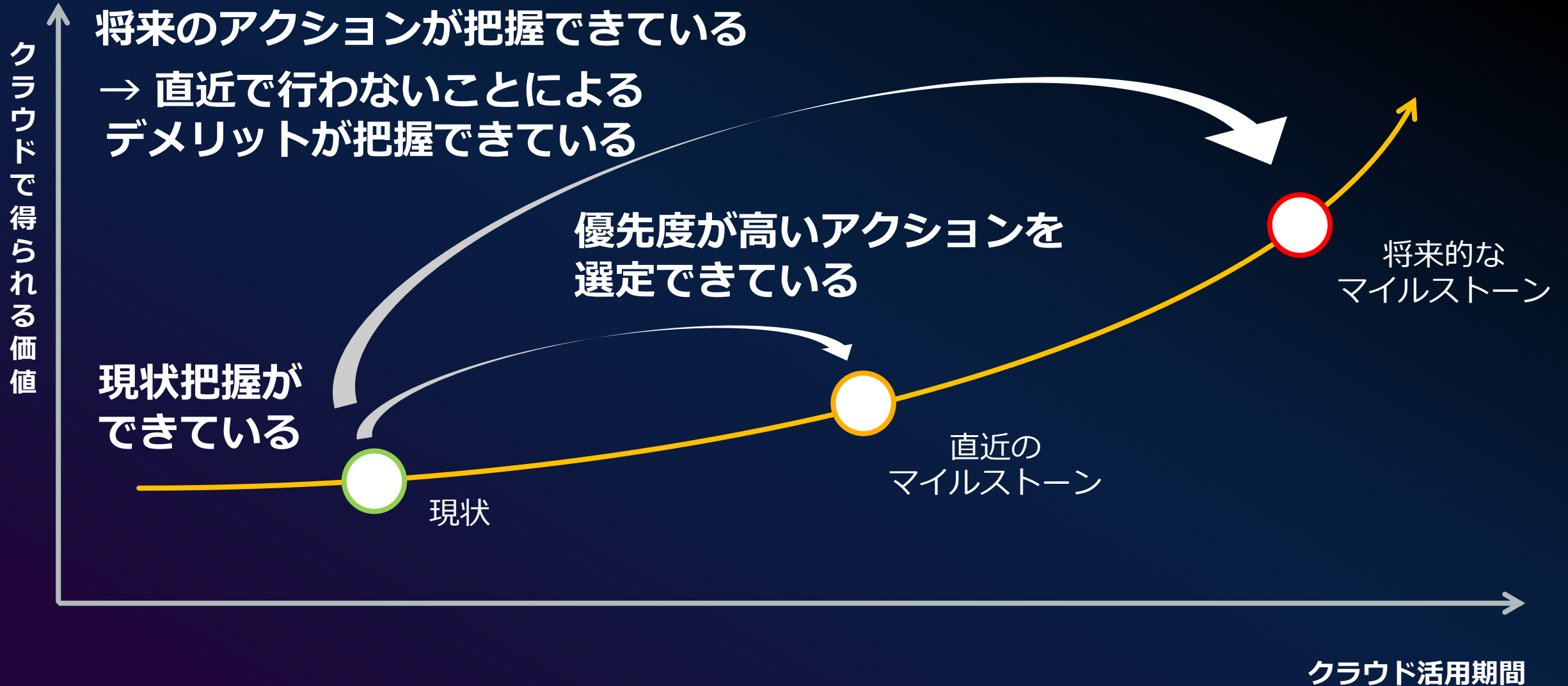
AWS Well-Architected Framework の概要と活用方法

まとめ

AWS 活用の改善計画を策定する際の課題



AWS 活用の改善計画を策定する際のあるべき姿



AWS 活用の改善計画を策定する際のあるべき姿

↑ クラウド
将来のアクションが把握できている
→ 直近で行わないことによる

“AWS Well-Architected Framework” が解決

クラウド活用期間

Agenda

AWS 活用の改善計画を策定する際の課題とあるべき姿

AWS Well-Architected Framework の概要と活用方法

まとめ

AWS Well-Architected Framework(W-A) とは?



- 10年以上の経験、数多くのお客様と AWS が作りあげたクラウド設計・運用の **ベストプラクティス集**



- ベストプラクティスを理解した上で、**優先順位付けを実施するための材料**

全てがベストプラクティスに則っている必要は無い



- **定期的なレビューと改善**を通じて、Well-Architected なサービスに (よりクラウドへの最適化)

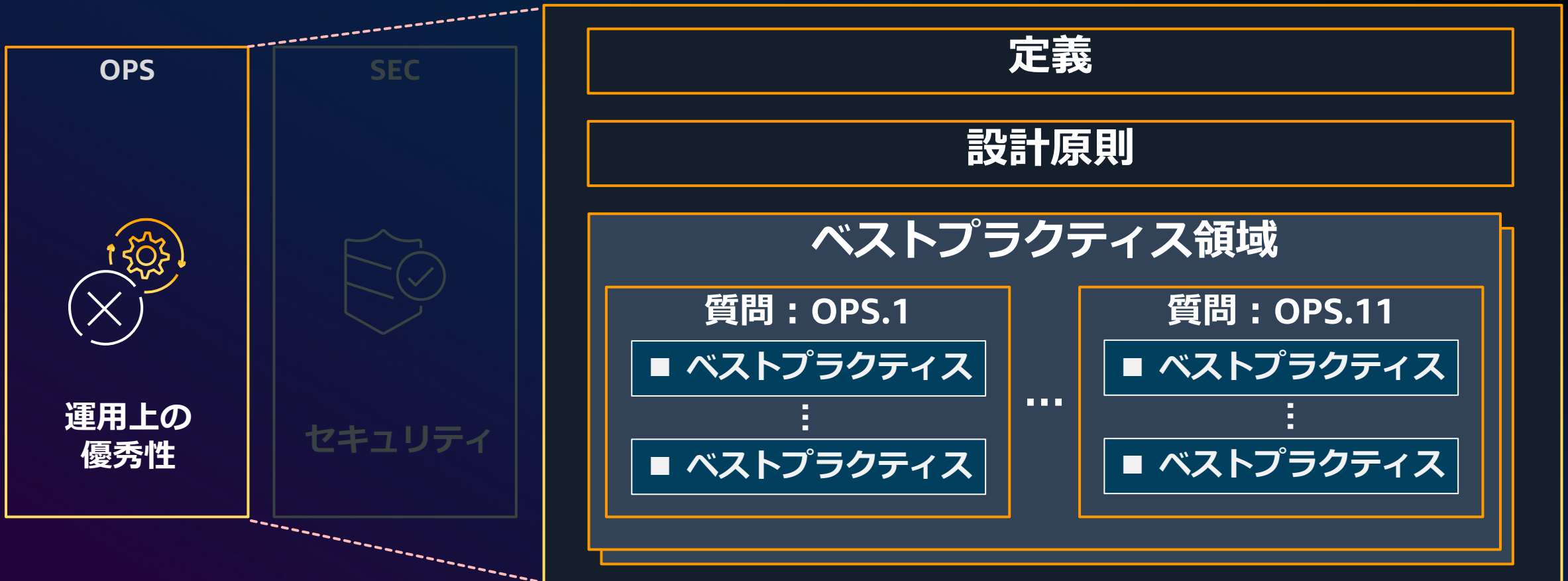
AWS Well-Architected Framework の構成要素

AWS Well-Architected Framework は、「一般的な設計原則」と「6つの“柱” (Pillar)」によって構成



AWS Well-Architected Framework の構成要素

それぞれの柱は「定義」、「設計原則」、
そして複数の「質問とベストプラクティス」によって構成される



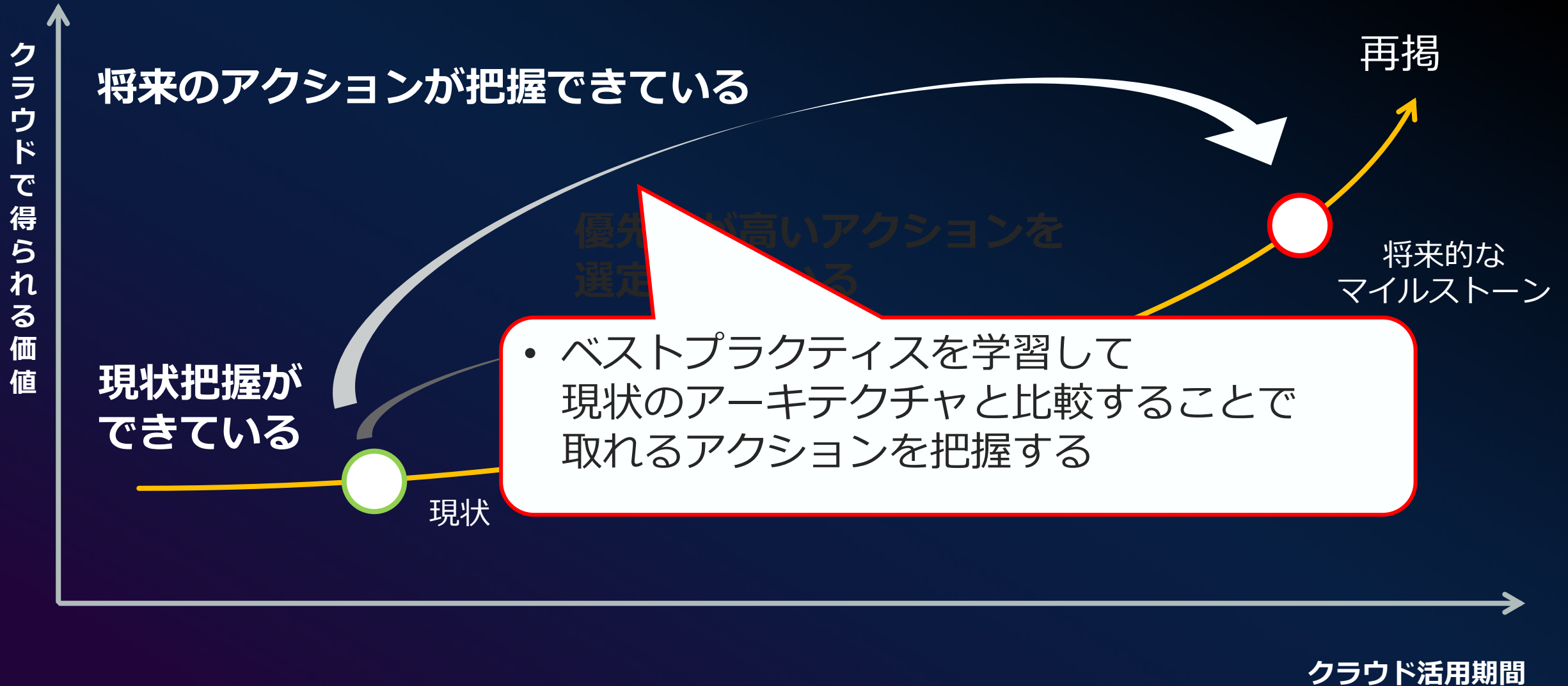
W-A "柱" (Pillar) の質問とベストプラクティス例

例：「セキュリティ」の柱 質問(抜粋)

[SEC2] ユーザー ID とマシン ID はどのように管理するのですか？

- SEC02-BP01 強力なサインインメカニズムを使用する
- SEC02-BP02 一時的な認証情報を使用する
- SEC02-BP03 シークレットを安全に保存して使用する
- SEC02-BP04 一元化された ID プロバイダーを利用する
- SEC02-BP05 定期的に認証情報を監査およびローテーションする
- SEC02-BP06 ユーザーグループと属性を活用する

AWS 活用の改善計画を策定する際のあるべき姿



W-A “柱”のベストプラクティスのガイダンス

例：「セキュリティ」の柱 質問(抜粋)

ガイダンスにベストプラクティスに従わない場合の
リスクやアンチパターンが記載されている

❑ SEC02-BP02 一時的な認証情報を使用する

たとえば EC2 インスタンスにアクセスキーを組み込んでいると…

- ・ 長期的なアクセスキーが組み込まれることで、他のリソースに対する不正操作のリスクが増大する
- ・ 定期的なキーローテーションを検討する必要がある

複数の AWS アカウントを運用しており、すべての AWS アカウントのアクセスに IAM ユーザーを使用していると…

- ・ 扱うクレデンシャルが増えることで、同時にクレデンシャルの漏洩リスクが増える
- ・ 異動、退職者が出た場合、どうする？

W-A “柱” (Pillar) のベストプラクティスの目的

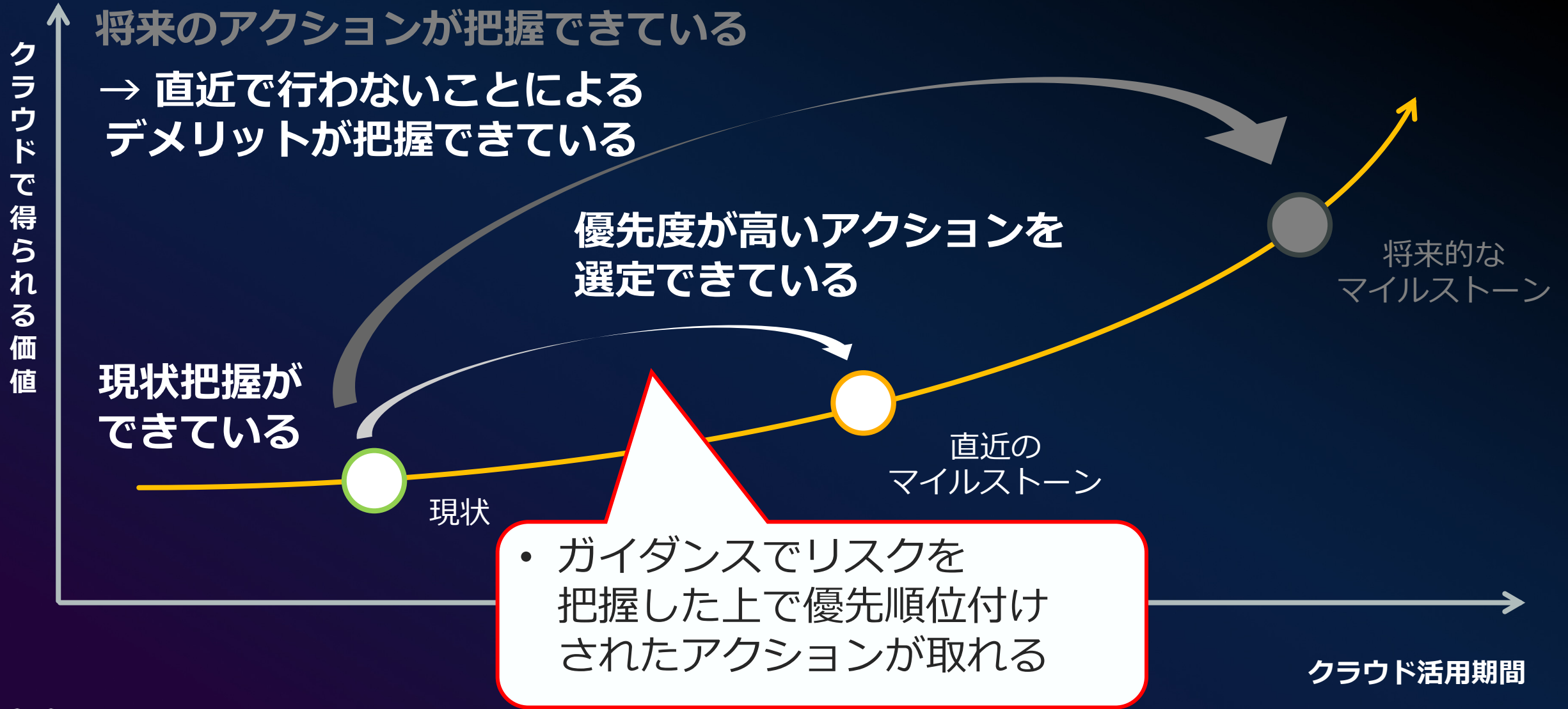
例：「セキュリティ」の柱 質問(抜粋)

全項目ベストプラクティスに
則っていないとダメなのか？

□ SEC02-BP02 一時的な認証情報を使用する

ベストプラクティスを知った上で、
皆様が「優先順位付けする」ための手法
→リスクや改善点の“顕在化”

AWS 活用の改善計画を策定する際のあるべき姿



AWS Well-Architected Framework の活用

Well-Architected Framework レビュー

- AWS Well-Architected フレームワークにおける各柱の質問にワークロードを照らし合わせる作業のこと
- **現在 (As is)** のベストプラクティスの適用状況を理解し、**将来 (To be)** のアーキテクチャを検討する
- 設計、構築、運用等、ワークロードの特性が変わるタイミングで**定期的**に実施することを推奨

AWS Well-Architected Tool

- Well-Architected レビュー時に活用できる AWS サービス
- 各質問毎に**ベストプラクティスの適用状況**を記録できる
- レビューした結果をレポートとして出力でき**リスクレベルが可視化**される

OPS 1. 優先順位はどのように決定すればよいでしょうか? [情報](#)

だれもが、ビジネスを成功させるうえで自分が果たす役割を理解する必要があります。リソースの優先順位を設定するため、共通の目標を設定してください。これにより、取り組みから得られるメリットが最大化されま

ず。

質問はこのワークロードには該当しません [情報](#)

以下から選択します

外部顧客のニーズを評価する [情報](#)

内部顧客のニーズを評価する [情報](#)

ガバナンス要件を評価する [情報](#)

コンプライアンス要件を評価する [情報](#)

脅威の状況进行评估する [情報](#)

トレードオフを評価する [情報](#)

メリットとリスクを管理する [情報](#)

いずれも該当しません [情報](#)

メモ - オプション

次のアクションとして、2 週間後までに組織のセキュリティポリシーを確認し、ガバナンス要件を評価する



AWS Well-Architected Tool

AWS Well-Architected Framework レビューのコツ

話し合いであり
監査ではない



重大な問題や
改善可能な領域の
特定が目的

適切な関係者で
ディスカッションする



開発、運用、ビジネス
セキュリティなど
適切な関係者を巻き込む

1 回限りの
チェックではない



変化する
アーキテクチャを
継続的にレビュー

Agenda

AWS 利用の改善計画を策定する際の課題とあるべき姿
AWS Well-Architected Framework の概要と活用方法
まとめ

AWS Well-Architected Framework は AWS 活用における改善フレームワーク



AWS Well-Architected レビュー を始めるためには

- 詳しく知りたい方は AWS Well-Architected Framework の公式 Web ページへ
 - <https://aws.amazon.com/jp/architecture/well-architected>
- レビューにご支援が必要な場合は担当 SA もしくは W-A パートナーへ



W-A 公式サイト



W-A パートナーについて

Thank you!

